

新たな社会的ニーズに対応した 学生支援プログラム



学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム

—学生の自立的行動を大学と地域が協働して取り組む支援—

国立大学法人

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

本学の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」が採択

文部科学省の平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」において本学が申請した「学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム」が採択された。

平成19年度、新規に募集したこのプログラムには、全国の国公立の大学・短期大学・高等専門学校から272の申請があり、70件が選ばれました。そのうち本学は、九州内国立大学唯一であった。

本学は、基本理念の柱である「学生顧客主義」の下、修学・就職・課外活動等、学生生活全般を支援してきた。本プログラム申請は、この「学生顧客主義」の拡充を目指し企画したものであり、採択は、「学生顧客主義」の実践に向けて、日々学生と向き合ってきた学生支援の成果である。

プログラムの概要

長崎はその昔から、全国から若者が蝟集して勉学に励み、町の人々も彼らを温かく迎えた。すなわち、長崎は町全体が学校であり、若者を育てた。21世紀の今、長崎の人々、長崎県・長崎市、長崎大学が協働して、「学生の人間関係力」を育てる。

長崎には「おくんち」を始め、数多の伝統ある地域行事がある。しかし、その行事は準備期間も含め半年～1年を要し、かつ若年者が不足しているため、地域伝統行事の維持が危ぶまれている。

本プログラムは、「学生顧客主義」の標語の下で、本学学生が地域伝統行事に参加して、その維持に力を尽くしてきた町の人々や豊富な知識と経験を持つ市民からなる「長崎大学応援団」の指導・連携・協力のもとに、昔の町内の若者頭的な役割を果たせるよう「やってみゅーでスク」を組織して取り組む。

地域の古老、指導者、子供たちと祭りの企画・準備等により、学生の「人間関係力」の醸成と、地域行事の活性化・リニューアルが期待される。

文部科学省による選定理由

本取組は、大学の「学生顧客主義」というユニークな基本理念を反映させるものとして、学生の人間関係力の醸成と地域行事の活性化・リニューアルを目指し、市民等から成る「長崎大学応援団」を結成するとともに、大学・学生・地域連携に基づく「やってみゅーでスク」を組織して総合的な学生支援を行おうとするものです。

早くから学生のニーズを把握するとともに、学生支援に関わる教職員の資質能力の向上に組織的に取り組み、また、学生の自主企画を大学として支援し続けています。大学と地域とが協働して学生の自立的活動を支援し、キャンパスライフの一層の活性化を実現しようとする優れた取組であり、その実践は他の大学等にも大いに参考となるものであると認められます。特に、人間関係力醸成の包括支援体制としての「コミュニティ・ライフ・アドバイザー（CLアドバイザー）」の配置構想は特筆できるものです。

2階層の学生支援

本プログラムでは、学生参加型及び学生企画・提案型の学生の自立的活動支援を通じた、人間関係力醸成の支援を大学・地域が連携して推進する。

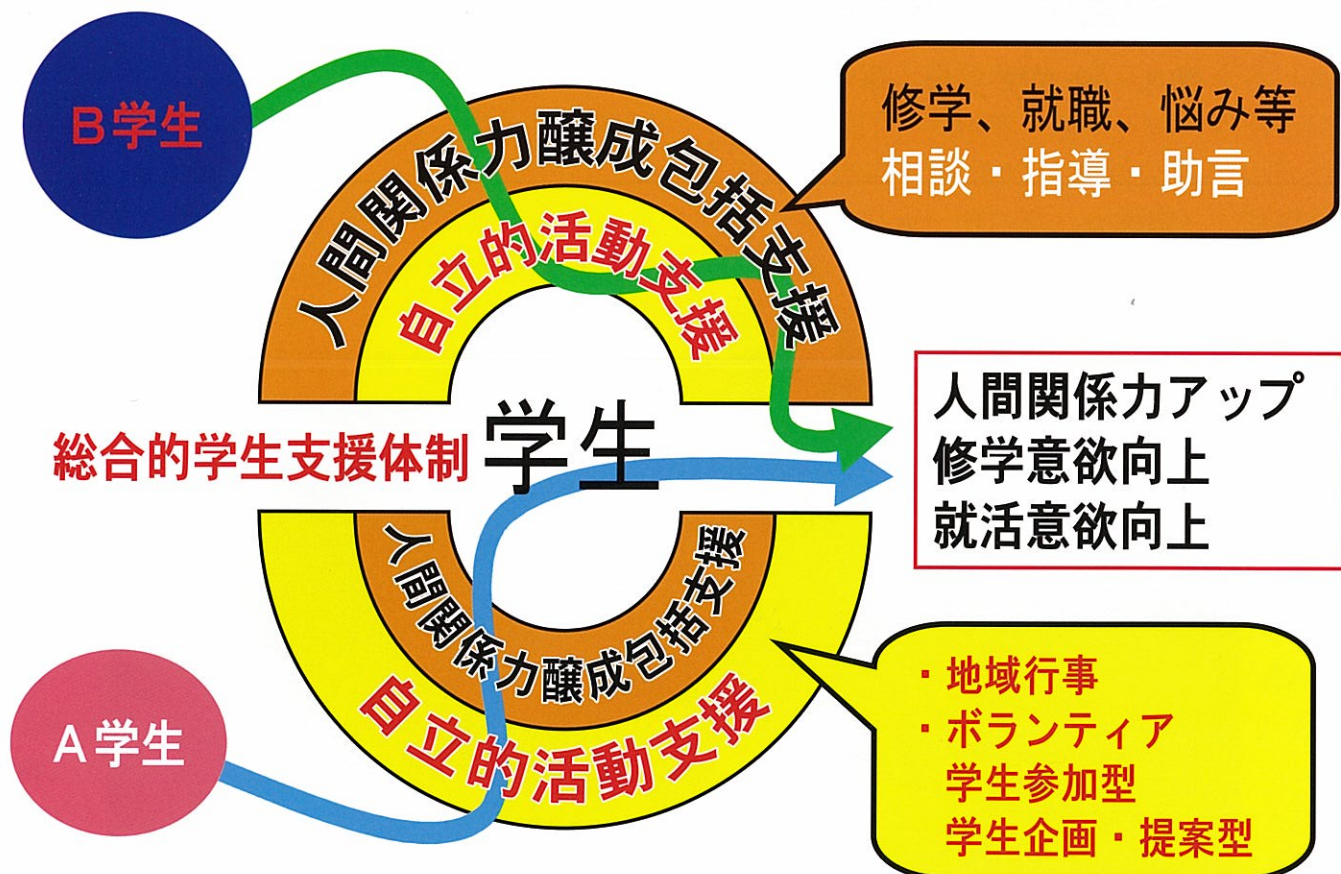
「やってみゅーでスク」には上記の学生支援スタッフが所属し、長崎大学の全学生を対象に支援を提供する。行事等への参加について支援を希望する学生はデスクに登録する。「やってみゅーでスク」では2階層の学生支援を行う。

A学生

意欲ある学生。専任教員と長崎大学応援団による、地域行事参加型及び企画・提案型の自立的活動支援を通じて、人間関係力醸成の直接的支援を行う。

B学生

不安や悩みを抱えた学生。コミュニティー・ライフ・アドバイザーが、カウンセラー、長崎大学応援団、学生支援部等と連携し支援を行う。学生の抱えた問題を解決するための指導・助言体制を整え、また、A学生との地域行事参加を促すことにより、A学生と同様に、人間関係力醸成を目指す。



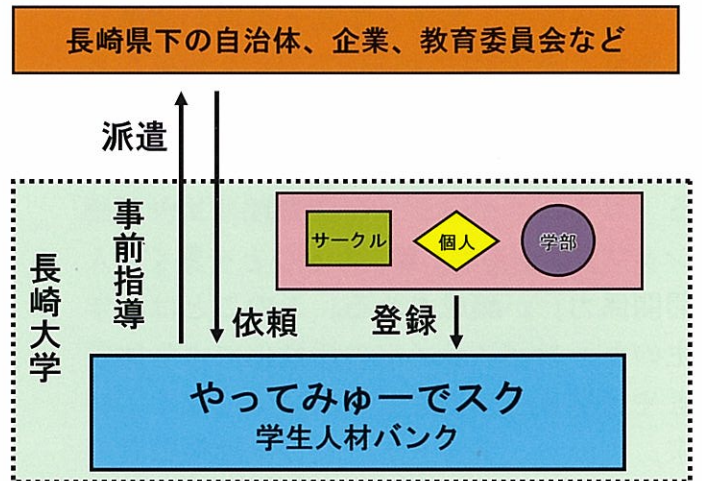
「やってみゅーでスク」 スタッフ

専任教員

「やってみゅーでスク」において地域行事との連携を中心となって進めると共に、取組全体の統括を行う。郷土史の講義や行事参加のための事前指導も担当する。平成 20 年度より採用。

長崎大学応援団

長崎県内の地域行事関係者を任命し参加の学生を側面より支援する担当者（地域行事担当者）、及び大学教職員OB、同窓生、団塊の世代や一般市民、学生ピア・サポートより構成する。行事の説明及び事前指導を担当する。



コミュニティー・ライフ・アドバイザー

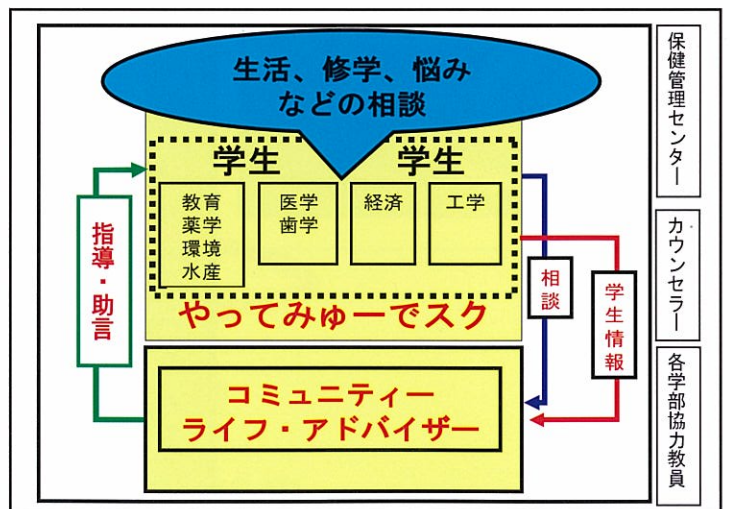
長崎大学心の教育総合支援センターで養成している、コミュニケーション能力を醸成する「ソーシャル・サポーター」講座を受講願ひ、学生生活全般の指導・助言者として平成 20 年 3 月までに養成し、「CLアドバイザー」の資格を付与する。指導・助言や講演会、各種研修会を担当する。

学生の欠席や履修状況に応じて早期に面談を行う他、就職等指導・支援を行い、人間関係力醸成を支えると共に、その成果を具現化する。

カウンセラー

通常、「学生何でも相談室」で学生相談に当たるが、「やってみゅーでスク」に登録した学生のハラスメント防止に関するFD研修を実施する。

その他、業務を掌理し監督するデスク長と、専任教員、デスク長の事務的補佐を行うデスクマネージャー及び事務員が在籍する。また、学生支援部、学生支援センターの職員も、本取組に協力する



プログラムの有効性

学生の自立的活動支援の「やってみゅーでスク」では、大学・学生・地域が連携して地域の行事等に積極的に参加することで、大学の座学では学べない知識の習得が可能であり、最近の大学生に求められている「コミュニケーション能力」、「リーダーシップ」、「創造性」等、人と人を繋ぐ「人間関係力」が醸成される。このことは、学生のキャンパスライフの活性化により休学者や退学者を減少させるだけではなく、将来、ニート、フリーター及び早期離職者の減少にも貢献できる。すなわち、地域が長崎大学生を育て、長崎大学は地域に優れた人材を供給するサイクル型の人材育成であり、長崎は、その昔、全国より若者が勉強のため集まり、街全体が学問の知であった。

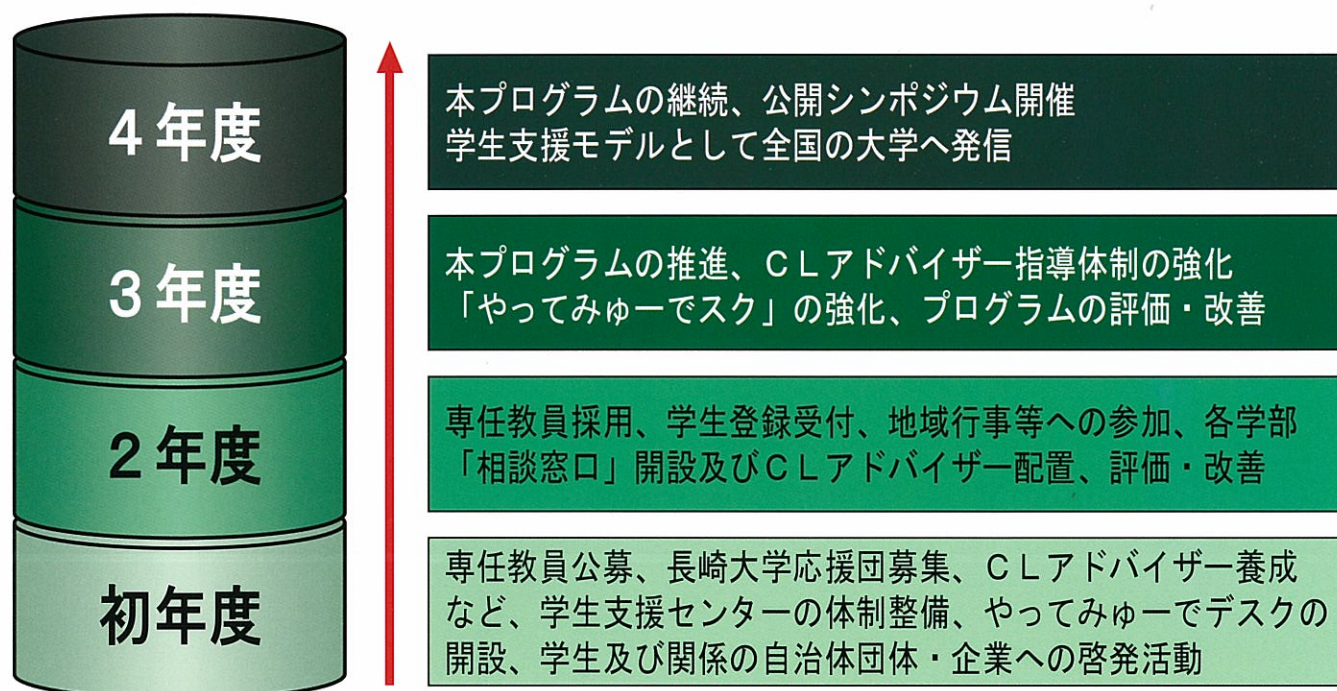
この取組は、長崎の人々が暖かく若者を見守っていったように、大学と市民とが協働し、学生の自立的行動を育む伝統的な文化を受け継ぐことに他ならない



プログラムの将来性

本取組の運営、評価、改善するために、教職員、外部機関・団体からなる**運営協議会**及び**評価委員会**を設置する。評価の観点、地域活動への参加状況、貢献度や目標達成状況について実施し、高い評価を受けた事項については、一層の向上を促し、低い評価を受けた事項については、適正な改善措置をとる。

また、評価結果を改善に効率的に用いるために、FD等を活用したサイクルを確立する。平成19年度から4年間の新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラムの終了後も、本プログラムに改良を加えつつ継続的に展開する予定である。



長崎大学 やってみゅーでスク

TEL:095-819-2870 FAX:095-819-2871

E-mail: yatemyudesk@ml.nagasaki-u.ac.jp

<http://www.yatemyudesk.jp>



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY